

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス POCCO音の泉こうふ		
○保護者評価実施期間	2024年11月7日		～ 2024年11月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	2024年11月9日		～ 2024年11月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用する子どもたちが楽しく参加できる 独自の音楽活動をメインとしていること	見通しの持てる決まったプログラム枠の中で、季節や一人一人の特性や課題に寄り添った内容を考えている。 静(着席して取り組む)と動(体を動かす)の活動をプログラムの中でバランスよく取り入れている。	OT等専門職の意見も取り入れながら活動の見直し、更新をし、療育の専門性を高めていく
2	集団活動でありながらもレベル別に取り組む等、子どもひとりひとりの段階に合わせた支援を行なっている。	OT等、多職種連携しプログラムの中でいろいろな視点からアプローチをできるよう工夫している。	事業所だけでなく、学校・家庭等でも一貫した支援を行なえるよう情報共有を行なっていく。
3	全国の事業所と繋がりのある顧問心理士から最新の情報や知識を得ることが出来る (職員研修が充実している)	S-M社会能力検査やKIDS検査等、定期的な評価を取り入れ、結果をもとにそれぞれのお子さんに必要な支援や目標を設定している。ほぼ毎月職員研修を行なっている。	社員だけでなく、パートを含めた職員全体での研修参加を促す。 外部研修等にも、積極的に参加する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ないこと (地域の子ども・住民等との交流の機会が持っていない)	室内の音楽プログラムがメイン活動のため	祝日や長期休暇等、地域と交流を図る活動や、イベントを企画する、外に出て地域の子どもや住民とふれあう機会を作る
2	保護者と職員が関わる機会を十分に持っていないこと	主に送迎時の関わりがメインだが、短時間・固定の職員での対応が多い。 登録人数が多く、一人一人の面談等に十分な時間を持っていない。	家族支援の充実を図り、活動参観や相談の機会を作っていく モニタリング時等を通じ、一人一人と面談できる時間を確保していく。
3	非常時や安全対策等、マニュアルは策定されているが保護者への周知が十分ではないこと	安全対策の各自マニュアルは策定されており、訓練実施の様子もSNSで周知しているが、全員に届いていない。	一人一人に届く方法で周知を行なっていく。